

# 第3学年7組 社会科学習指導案

3年6組教室 指導者 加藤 琢

## 1 単元名 15歳の提案！住みよい西尾のまちづくり（地方の政治と自治）

### 2 単元の目標

- (1) 地方公共団体の活動やまちづくりについて関心を高め、それらを意欲的に追究することができる。
- (2) 市民の願いや財政、地域の課題をふまえ、住みよい町をめざして、西尾市長が掲げる「総合運動場の整備」をどのように進めるべきかについて考察し、表現することができる。
- (3) 「広報にしお」やインターネット、聞き取り調査などを通して、西尾市のまちづくりについて調べ、考えたことを提案としてまとめることができる。
- (4) 住民自治を基本とする地方自治の考え方や地方公共団体の政治、財政の仕組みについて理解することができる。

### 3 単元の構想

#### (1) 生徒にかける教師の願い

本学級は社会科の授業を好きな生徒が多い。一問一答形式の発問には積極的に発言するが、自分の考えを人前で発表したり、資料をもとに思考・判断したりすることは苦手な生徒が多い。単元「わたしたちの生活と現代社会」では、「グローバル化が進む中、今後日本はどう進んでいくべきだろう」というテーマで話し合いの授業を行った。生徒たちは、調べた資料の内容をそのまま伝えただけで、自分の言葉で伝えることはできていなかった。その原因として、資料の分析ができていないことが考えられる。

抽出生Aには、これまで学習してきたことと様々な資料から読み取った情報をつなげて考えを構築し、根拠を明らかにしながら、自分の言葉で他者に分かりやすく伝える力を伸ばしてほしいと願っている。

#### (2) 教材について

本単元は、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、地方自治について関心をもち、地域を担っていく人材としての自覚をもつきっかけとなることをねらいとしている。今日、各地方公共団体では、少子高齢化にともなう税収の減少や行政サービスの低下等への解決に向けて、様々な取り組みが行われている。地方に応じた特色ある地域づくりの推進においては、行政主導から住民主導への移行がますます求められている。今後、日本を担う生徒たちにおいて、主権者及び住民の一人として、地域づくりへ参画していく態度を育てることは極めて重要である。

そこで本単元では、生徒たちにとって身近な町・西尾市のまちづくりを教材として取り上げる。市長が掲げる「総合運動場の整備」に着目させ、西尾市や他の市のスポーツ施設の状況を比較したり、市役所の方への聞き取り調査を行ったり、考えたことを提案としてまとめて市役所に発信したりすることで、地域の一員として西尾市の発展のために積極的にかかわっていかうとする態度を育てることができると考える。

#### (3) 単元について

つかむ段階では、地方自治の考え方や地方公共団体の政治、財政の仕組み、住民参加の方法について学習する。次に、3年生全員に行った「西尾市で変わってほしいところ」のアンケートの結果を発表する。一番票が多かった「町に魅力や活気がない。人を呼び込む施設がない」という意見をもとに西尾市のまちづくりについて考えていく。また、市長の施政方針を提示する。「総合運動場の整備」を進めようとしているがまだ計画段階にあることを伝える。人を呼び込む施設を求める生徒たちにとって、15歳なりの建設案を出したいという思いをもつであろう。

深める段階では、「どんな規模の総合運動場を作るべきだろう」という視点で、他の地方公共団体の施設と西尾市内にある現存の施設を比べたり、西尾市の財政の状況や課題などを市役所の方から聞いたりする活動を行う。また、「総合運動場」の建設案をより具体的にするために、他の地方公共団体のスポーツ施設の建設費や年間維持費、利用者のニーズという視点を与え、調べていく。そして、調べたことをもとに学級で建設案を話し合う時間を設ける。小グループや学級全体で建設案を話し合うことは、提案内容がより精選され、生徒たちのまちづくりに対する関心を高めることにつながるだろう。

生かす段階では、生徒たちの建設案を市役所に届ける活動を行う。自分たちで自分たちの町・西尾市をよりよくしていこうとする気持ちを高め、行動に移していこうとする姿に期待する。

#### 4 単元構想図 (10時間完了、本時9/10)

##### 西尾市は住みよい町なのだろうか考えよう (3)

- ・地方自治の考え方や地方公共団体の政治、財政の仕組み、住民参加の方法について知る。
- ・毎日の生活体験から、西尾市で変わってほしいところを3年生全員にアンケート調査し、その結果をもとに西尾市のまちづくりについて考える。

「町に魅力や活気がない」が一番多いね。人を呼び込む施設が少ないので、「西尾といったらこれ」っていうものがほしいなあ。

人が集まる施設として、大型ショッピングモールやスポーツ施設、市民ホールなどがあるといいね。

西尾市は、魅力や活気ある町にするために、どのようなまちづくりを行っているのだろうか。

つかむ

- ・榊原康正市長の平成27年度施政方針を読み、市政の様子を知る。

農業副都心構想として、福地南部地域において、農業からレストランまでを一貫した施設をつくる計画があるね。

吉良地域において、塩田の復元と塩づくりの体験施設が今年度中に完成するみたいだね。

「総合運動場の整備」と書いてあるよ。市長さんもスポーツ施設の新設を考えているんだね。一体どんな計画なのだろう。わたしたちも考えてみよう。

##### 住みよい町・西尾市をめざして、 僕たち15歳の提案を市役所に届けよう

##### 住みよい町・西尾の姿を考えよう (6)

- ・「西尾市総合グラウンド」と「安城市総合運動公園」「刈谷市総合運動公園」など他の地方公共団体のスポーツ施設を比較し、思ったことを発表する。

安城市や刈谷市のような観客席があり、グラウンドが全面芝生で、トラックがタータンでできているものが西尾市にもほしいな。

岡崎や安城、刈谷、碧南にもあるような硬式野球のできる球場も「総合運動場」には必要だと思う。

- ・西尾市内の屋外スポーツ施設の設置場所と、各施設の規模や様子を確認する。

野球やソフトボールのグラウンド、テニスコートの数は意外と多いね。

みなとまちにサッカー場はあるけど、芝が剥げていて使いづらいよ。

公式野球場と陸上兼サッカー場の立派な施設がないからほしい。

深める

- ・現在、西尾市が計画している「総合運動場」の建設案を知る。

プロ野球のオープン戦ができる野球場と3種の陸上競技場、テニスコートを作ろうとしているんだね。

建設費総額80億円かかると言われているけど、西尾市はお金があるのかな。財政の様子はどうなっているのだろうか。

##### 教師の支援

- ・西尾市のまちづくりに対する意識を掘り起こすために、「西尾市で変わってほしいところ」のアンケートをとり、その結果もとに感じたことを自由に出し合う場面を設定する。
- ・地方公共団体のまちづくりの視点で考えていけるように、商業施設ではなく、公共施設に着目するように指示する。
- ・西尾市が「町に魅力や活気」あるまちづくりをめざすため、人が集まる施設としてどんな計画をしているのかを調べることができるよう、市長の「平成27年度市政方針」を用意する。
- ・中学生でもまちづくりに参加することができることを知るために、市役所HPの「市民の声」などの市政とかわる方法を伝える。
- ・「総合運動場」のイメージを明確にするために、安城や岡崎、刈谷にある総合運動公園などの近隣の市の施設の写真を複数提示する。
- ・西尾市の屋外スポーツ施設の現状を把握し、「総合運動場」に何が必要なのか具体的に考えていけるように、市内の全ての屋外スポーツ施設の資料を提示する。
- ・プロ野球のオープン戦ができる野球場や3種の陸上競技場をイメージできるように、刈谷市民球場や刈谷ウエーブスタジアムの写真を提示する。

## 教師の支援

- 市役所の職員の方から、西尾市の財政（歳入・歳出）の内訳や課題を学ぶ。

平成 25 年度は、単年では 25 億円の財政赤字だね。でも 25 億円のほとんどが市債の返済や、農業副都心構想の積立金となっているんだね。

国の補助金 20 億円+市債 40 億円+積立金 20 億円で建設できる想定なんだね。「総合運動場」の積立金は、毎年 1 億円ずつで、現在 2 億 3000 万円しか貯まってないよ。

お金が不足していることをふまえ、西尾市はどんな「総合運動場」を作るべきだろう。

- 限りある財政の中で、他の地方公共団体の施設の建設費、市内外のスポーツ利用者のニーズを参考にしながら西尾市「総合運動場」の建設案を考える。

深める

西尾市民が喜ぶ「総合運動場」を作るには、どんな規模のものを作るべきか話し合おう（本時）

プロを呼べる屋外スポーツ施設ができれば、市内外から人が集まり、西尾市が活性化する。先日のデモンソー・エアリービーズの試合では、総合体育館に、市外からたくさんの人がやってきていた。積立金がたまるのにはあと 18 年はかかるが、市の計画通りに建設すべきだ。

トップアスリートを育成するためには、陸上競技場兼サッカー場と野球場が必要だ。テニスコートは市内にたくさんあるからこれ以上作る必要はない。その分、野球場にお金を回せば、立派な野球場を作ることができる。オープン戦ができれば、西尾市は活性化するはずだ。

刈谷の運動公園は年間維持費でさえ約 4 億円かかる。財政を圧迫するだけなので、今ある施設を改修整備して利用していくべきである。総合グラウンドの老朽化が激しいのでトラックをタータンに替え、グラウンドを維持費の安い人工芝に替えることでサッカーもできるようにするとよい。

- 話し合いや市役所の方の話をもとに、3 年 7 組の提案を一つにまとめる。

### 住みよい町・西尾をめざして、市に提案しよう（1）

- 西尾市パブリックコメント手続きや市役所 HP の市民の声、陳情書などを活用して、中学生なりの提案を市役所に届ける。

生かす

**西尾市民にとって住みよい町にするため、これからも積極的にまちづくりにかかわっていききたいな。**

- 西尾市の財政の内訳や課題、市債の意味について把握できるように、西尾市役所の方に話をさせていただく機会を設ける。

- 財政に余裕がないことに気づけるように、財政黒字の分は、「総合運動場」だけでなく、農業副都心構想や市債の返済にも充てられていることを伝える。

- 「総合運動場」の建設案を具体的に考えていけるように、近隣の市の施設の建設費や年間維持費の資料を用意する。

- 利用者のニーズを調べられるように、広報誌やインターネット調査、市役所や各種協会などへの聞き取り調査を行う時間を確保する。

※抽出生 A が自信をもって話し合いができるように、対話や朱書きを繰り返し行い支援する。

- スポーツ施設の建設費や年間維持費、利用者のニーズについて質問できるように、市役所のスポーツ課の方にゲストティーチャーとして参加していただく。

資料から読み取ったことを自分の言葉で伝え合い、他者の考えを受けて、自分の考えを深めようとする抽出生 A

## 5 本時の学習（本時9／10）

### （1）目標

- ・話し合いを通して、「総合運動場」の建設案について考えを深めることができる。

### （2）過程

#### 1 市が計画する「総合運動場」の建設案と財政を確認しよう（5分）

- 市が考える「総合運動場」の建設案と財政の状況を確認する。
  - ・プロ野球のオープン戦ができる野球場と3種の陸上競技場、テニスコートを作ろうとしている。総額80億円かかる。
  - ・財政黒字が続いているが、黒字額は他の設備投資資金や市債の返済に充てている。
  - ・国の補助金20億円+市債40億円+積立金20億円で建設できる想定。しかし、「総合運動場」の積立金は、毎年1億円ずつで、現在2億3000万円しか貯まってない。

#### 2 西尾市民が喜ぶ「総合運動場」を作るには、どんな規模のものを作るべきか話し合おう（40分）

- 小グループで建設案を話し合う。
- 全体で建設案を話し合う。

##### 市の計画通り作る

プロを呼べる屋外スポーツ施設ができれば、市内外から人が集まり、西尾市が活性化する。先日のデンソー・エアリービーズのバレーボールの試合では、総合体育館に市外からたくさんの人がやってきていた。野球やサッカー、テニス協会からの要望も強い。積立金がたまるにはあと18年はかかるが、市の計画通りに建設すべき。

##### テニスコートは不要

テニスコートは市内にたくさんあるからこれ以上作る必要はない。その分、野球場や陸上競技場にお金をかけて、トップアスリートを育成する施設を整えるべきだ。刈谷市民球場ぐらいの立派な野球場を作れば、オープン戦が主催できる。市内外からも注目されて、西尾市は活性化するはずだ。

##### 今ある施設を改修して活用していく

刈谷市総合運動公園の年間維持費は約4億円。西尾市の財政を考えると、今は健全だが、今後少子化の影響で税収が減少する可能性が高い。財政を圧迫するだけなので、今ある施設を改修整備して活用していくべきである。総合グラウンドの老朽化が激しいのでトラックをタータンに替え、グラウンドを維持費の安い人工芝に替えることでサッカーもできるようにするとよい。

#### 3 本時の学びを振り返ろう（5分）

- 話し合いや市役所の方の話をもとに、自分の考えを再構築する。
  - ・現在の西尾市の財政のことを考えると、立派な施設を作りたいけどお金がない。現実的に考えて、今ある施設を改修するのがベストなのかもしれない。

### （3）評価

- ・「総合運動場」の建設案について、根拠をもって自分の考えを発表することができたか。

（ワークシート、話し合いの様子、発言）

#### 教師のはたらきかけ

- ・本時の話し合いの根拠にするため、前時までに調べた西尾市が計画している「総合運動場」の建設案と財政の状況を全体で確認する時間を設ける。

- ・建設案について具体的な話し合いができるように、施設の建設費や市内外のスポーツ利用者のニーズを視点に考えていくように助言する。

- ・自分の建設案に自信をもち、考えを深めていけるように、同じような考えをもつ生徒同士で小グループを編制し、生徒同士で関わる場面を設定する。

- ・スポーツ施設の建設費や年間維持費、利用者のニーズについていつでも質問できるように、市役所のスポーツ課の方にゲストティーチャーとして参加していただく。

- ・生徒の多面的な調べや考えを引き出すため、座席表を活用して指名順を工夫する。

- ・話し合いやゲストティーチャーの話で得たことをもとにして、考えの変容が分かるように建設案をまとめていくよう指示する。